

(様式第1号)

■ 会議録 □ 会議要旨

会議の名称	第1回芦屋市環境づくり推進会議
日時	令和3年12月15日(水) 10:00~12:00
場所	芦屋市役所北館4階 教育委員会室
出席者	会長 長井 彦一郎 委員 大脇 巧己 委員 武田 誠 委員 冬頭 佐智子 委員 半田 孝 委員 後藤田 利香 委員 浜橋 多恵子 委員 松下 仁美 委員 井岡 祥一 委員 森田 昭弘
事務局	環境課長 富松 正貴 保全係長 岡本 祐子 課員 芝本 裕真
会議の公開	■ 公開 ----- □ 非公開 □ 一部公開 会議の冒頭に諮り、出席者○人中○人の賛成多数により決定した。 〔芦屋市情報公開条例第19条の規定により非公開・一部公開は出席者の3分の2以上の賛成が必要〕 <非公開・一部公開とした場合の理由>
傍聴者数	0人(公開又は一部公開の場合に記入すること。)

1 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 委員及び行政側職員の紹介
- (4) 議事
 - ア 会長・副会長の選出
 - イ 環境フェスタについて
 - ウ 第12期芦屋市環境づくり推進会議の活動テーマについて
 - エ その他
- (5) 閉会

2 提出資料

第12期委員名簿

会議次第

- 【資料1】 令和3年度ポスター・作文コンクール展示
- 【資料2】 令和3年度環境フェスタチラシ(案)
- 【資料3】 環境フェスタレイアウト(案)
- 【資料4】 環境フェスタタイムスケジュール(案)
- 【資料5】 第12期推進会議活動テーマ案

3 審議内容

(事務局)

ただいまから第12期第1回芦屋市環境づくり推進会議を開催させていただきます。

本日は、大変お忙しいところをご出席いただき、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます環境課の富松でございます。どうぞよろしくお願いたします。本日の会議は、お手元の会議次第に沿って進めさせていただきますので、よろしくお願いたします。

なお、委嘱状、任命書につきましては、皆様のお手元にご用意しておりますのでご確認いただきますようお願いいたします。誠に勝手ながら、これを以て、「委嘱状交付」に代えさせていただきますのでご了承ください。

続いて、「委員及び行政側職員の紹介」にうつりたいと思います。第12期委員は、お手元にお配りしております【委員名簿】のとおり、合計11名でございます。それでは、恐れ入りますが【委員名簿】の順に自己紹介をお願いしたいと思います。なお、本日、池内委員は欠席でございますので、大脇委員からよろしくお願いたします。

(大脇委員)

おはようございます。NPO法人さんびいすの大脇と申します。芦屋市内で教育・人材育成等に関する取り組みをしております。また、個人の活動としては、市内の小中学校で野外活動をさせていただいています。どうぞよろしくお願いたします。

(武田委員)

おはようございます。芦屋市子ども会連絡協議会の武田と申します。新任ということで、前職の方を引き継ぎ、担当させていただきます。子供と環境は深く関わりのある部分だと思いますので、そのような視点で取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

(長井委員)

長井彦一郎と申します。芦屋川ロータリークラブの代表として参りました。地域奉仕団体の一環として、私は環境推進に関する部門を担当しております。環境づくり推進会議委員を長く担当させていただいておりますが、皆様と引き続き良い環境づくりをしていきたいと思ます。よろしくお願いたします。

(冬頭委員)

ユープこうべ第2地区本部の冬頭と申します。よろしくお願いたします。芦屋市内の店舗を始め、トラック配達など、環境分野を含めた様々な活動に取り組んでおります。今年の6月から就任いたしました。今期も皆様とご一緒に活動できることを楽しみにしております。

(半田委員)

半田と申します。長きに渡って委員を担当させていただいております。自然環境等専門的知識を有する者というのは、少し恐れ多いです。以前、私は、高校で地学の教員をしていました。退職後、大学で理科教育法を9年間教えていました。そういった経緯もあり、ここに参加させていただいております。芦屋市では、年2回の星空観察会を約30年間、講師をさせていただいております。現在は野鳥の会に入っており、市内の子供達に配布する鳥の冊子作り等をさせてい

ただいております。何か、少しでもお力になればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(後藤田委員)

おはようございます。後藤田と申します。よろしくお願いいたします。私は、昨年11月に北海道から芦屋へ引っ越して来ました。1年も経っておらず、芦屋については何も知らないため、この場でお勉強するきっかけになればと思い、参加させていただきました。仕事がリモートワークになったこと、子供が独立したことをきっかけに移住しようと思い、昨年、全国を車で回った際に芦屋市を通り、ここで暮らそうと思いました。これを機会に芦屋について勉強させていただければと思います。

(浜橋委員)

浜橋多恵子と申します。よろしくお願いいたします。現在は大学生の長男ですが、小さい頃から生き物が好きで、自然観察会にも参加させていただきました。豊かな自然の芦屋に驚き、もっと芦屋の自然を勉強させていただければと思い、参加させていただきました。

(松下委員)

松下と申します。庭に木がありますので、庭の木の実を食べに来る野鳥を観察することがとても好きです。また、毎年、芦屋川にカモの親子が来ることも楽しみに、芦屋の自然を満喫しています。愛玩動物飼養管理士という資格を持っており、人と動物が共生できる世の中ができないかと日々考えています。何か自分でもできないかと思い、応募させて頂きました。どうぞよろしくお願いいたします。

(井岡委員)

皆様おはようございます。教育委員会学校教育部長の井岡と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

(森田委員)

芦屋市市民生活部の森田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私は4年目になります。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

環境づくり推進会議の事務局は、環境課長の富松、保全係の岡本、芝本で務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

ひとつめは、「会長・副会長の選出」についてです。芦屋市環境づくり推進会議設置要綱第5条の規定では、会長及び副会長は、委員の互選によって定めとなっております。会長はいかがでしょうか。

皆様で、特にご意見がなければ、第11期の推進会議でも会長をお願いしておりました長井委員に引き続き会長をお願いしてはと思いますがいかがでしょうか。

(委員一同)

～拍手～

(長井委員)

よろしく願いいたします。

(事務局)

ありがとうございます。では、長井委員に会長をお願いいたします。

続いて、副会長はいかがいたしましょうか。

こちらも特にご意見がなければ、第11期の推進会議でも副会長をお願いしておりました池内委員をお願いしてはと思いますがいかがでしょうか。

(委員一同)

～拍手～

(事務局)

ありがとうございます。では、池内委員に副会長をお願いしたいと思います。

芦屋市環境づくり推進会議設置要綱第6条により、「会長がその会議の議長となる」と定められておりますので、ただいまからは、長井会長に、会議の進行をお願いいたします。

会長は、会長席へご着席いただきますよう、よろしく願いいたします。

(会長)

皆様、改めまして、おはようございます。この度、会長に就任いたしました長井です。皆様と2年間、芦屋市のより良い環境づくりのために、一緒に楽しく活動してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします

それではまず、議事に入ります前に、事務局から委員の出席状況の報告をお願いいたします。

(事務局)

委員11名中、本日10人がご出席でございます。半数以上の出席をいただいておりますので、会議は成立しております。

(会長)

ありがとうございます。本日、傍聴の方はいらっしゃいますか。

(事務局)

傍聴の方はいらっしゃいません。

(会長)

それでは、議事を進行してまいりたいと思います。事務局は議事に沿って説明をお願いいたします。

(事務局)

はい。資料の確認も併せてご説明いたします。

【資料① R3ポスター・作文コンクールの展示】です。今年の8月～9月にかけて、市内の小学校の生徒さんを対象に、ポスターと環境作文をそれぞれ募集し、推進会議の委員の皆様にご採点いただきました。その後、入賞作品については、市役所北館1階入口前の展示コーナーと行政情報サービスコーナー前にそれぞれ展示いたしました。現在も、展示しておりますの

で、ぜひご覧ください。

続いては環境フェスタについてです。環境フェスタとは、市内の環境団体さんから自然や植物を素材としたワークショップをおこなったり、化石展示をおこなったり、作文の展示をするイベントです。前は、市民センターの多目的ホールを使用しましたが、今年度は、401・403室を借りて実施する予定です。

今年度は、来年2月26日（土）を予定しております。【資料② R3環境フェスタチラシ】は環境フェスタの案内に関するチラシです。本日の会議で皆様にご確認いただきましたら、12月中に印刷依頼をし、2月に市内の小学校に配布する予定です。

次に、環境フェスタのレイアウトは【資料③ レイアウト】、スケジュールは【資料④スケジュール】のとおり、予定しております。401室ではワークショップを、403室では化石展示と最優秀賞・優秀賞の作文展示を考えています。展示方法については、木の角材を2本使用し、展示作品を貼ろうと考えています。簡易的ではありますが、この方法であれば幅を調整することもできます。皆様には、準備、受付、ワークショップ、展示のお手伝いをさせていただきたいと考えておりますが、詳細な役割分担などについては、次回の1月の推進会議で取決めさせていただければと思います。

（会長）

環境フェスタについて、何か意見等ございますか。

（森田委員）

ワークショップは、事前申し込み制ということですが、電話のみでしょうか。WEB申し込み等は考えていますか。チラシですが、下記問い合わせと記載されていますが、下記になっていません。

また、化石展示についてです。子供達にも人気で、展示のメインになると思います。実際に化石に触れるため、感染対策をおこなうのか、それとも今回は触れずに見るだけにするのでしょうか。

（事務局）

その時によると思います。入口に消毒液を置き、消毒していただければ可能と考えています。

（森田委員）

化石はアルコールが付いても大丈夫でしょうか。

（半田委員）

大丈夫な化石を展示したいと思います。

（森田委員）

化石に触れたい子供はたくさんいると思いますが、子供が触れることに親が抵抗を持っている方もいると思いますので、そこは慎重に考える必要があると思います。しっかり対策を取って実施できればと思います。

（半田委員）

テーブルに消毒アルコールを1個ずつ置いていきますか。

(事務局)

そうですね。ですが、委員の皆様にもお手伝いとして交代制で見ていただこうと考えていますので、随時消毒ではなく、定期的に消毒していただこうと考えています。

(森田委員)

「触ってください」と促すような案内は避けた方がいいですね。

(事務局)

「触ってください」とは言いませんが、「触ってもどうぞ」という程度にしようかと思えます。見るだけでも良いと思えます。

(大脇委員)

せっかくですし、子供達に触ってほしいという思いは半田先生にもあると思えます。「自由に触って下さい」とし、手袋を横に置き、気になる方は使ってくださいとする方法で良いと思えます。そして、定期的にこちらで消毒すれば良いと思えます。

(事務局)

化石の説明についてですが、質問された際に答えることができるように、事前に委員の皆様から半田先生からレクチャーをしていただく時間をつくれたらと思っています。

(森田委員)

化石の下に敷く紙についても考えないといけませんね。

(事務局)

そうですね。前回は、化石を包んでいた紙を使い、急遽用意しました。

(半田委員)

適当な物がなければ、私が用意します。また、スプレー式の消毒でも化石は大丈夫です。そのような消毒をする様子を見れば、参加される方も安心すると思えます。

(武田委員)

チラシの化石・鉱物展示に、どのような化石が展示されているか、子供でも分かるような説明文を入れていただくと良いと思えます。同じように、ワークショップも説明文があると分かりやすいのではと思えました。

(事務局)

「このようなことをしています」といった説明があれば良いということでしょうか。分かりました。

(森田委員)

詳細な情報については、ホームページにも掲載しますよね。

(事務局)

そうですね。

(大脇委員)

ワークショップについてですが、30分あたり3人×3グループの9人は、1つのブースあたり30分ということでしょうか。それとも、9人は3つのブースで30分ということでしょうか。

(事務局)

まだ、案の段階で具体的には決まっています。仰っているように、時間内で好きなブースを回るとするのか、1つのブースに30分とするのか。いずれにしても、スムーズに進まないと思います。今後、環境団体さんにご相談させていただければと思っております。

(大脇委員)

そうですね。前回の様子ですと、みなさん、作業に時間がかかっていましたね。こちらのブースはスムーズに進みました。ただ、先着順であれば先着順と記載しなければ、保護者の方も分からないですね。

(事務局)

そうですね。先着順についても記載しておきます。また、何日から募集についても抜けておりましたので、追記しておきます。

(森田委員)

どのブースがどのようなワークショップをするか、という説明文をチラシ内にすべて記載することにも限界がありますので、必要最低限の内容で良いと思います。

それにしても、子供達は自由にブースを回りますから、しっかりと区切ることは難しそうですね。

(大脇委員)

チラシのワークショップについては、おおよそのイメージが分かれば良いと思います。詳細はホームページを見ていただくという案内が良いと思います。

もし、ひとつのブースが満員になった場合でも、こちらのブースを案内していただければ大丈夫です。

(事務局)

そうですね。ありがとうございます。

(会長)

他に何かございますか。

(冬頭委員)

前回、どれだけの方が来られたのか、人数は分かりませんが、例えば、募集する際に、事前に体温を測っていただくのか、あるいは、入室制限を設けるのか、一度、検討されてはいかがでしょうか。

(森田委員)

それは絶対に必要ですね。市のイベントでもおこなっています。体温の計測は、事務局でするのか、各自でしていただくのか。あるいは、混雑した際に入室制限を設けるのか。

(冬頭委員)

そうですね。混雑した際は、入室を何人までにするのか、ワークショップだけでなく、化石の展示においても、人数の把握などは事前に話し合いができれば良いと思います。

(事務局)

そうですね。たしかに仰っているように、詳細は決めていかなければならないと思います。今回は第12期の初回会議ということもあり、初めての委員さんもいらっしゃいますので、環境フェスタに関するおおよその内容だけに留めようと思います。次回の会議で具体的に決めていきたいです。

マスクと事前の検温については、ホームページにも掲載はする予定ですが、併せて、チラシにも記載した方がよろしいでしょうか。

(冬頭委員)

その方が良いと思います。

(森田委員)

他市のイベントのチラシ等にも、おそらくそのような記載されていると思います。ただ、チラシのレイアウトがかなり狭くなりますが、大丈夫でしょうか。

(事務局)

大丈夫です。

(森田委員)

前回の環境フェスタは何人の方が参加されましたか。

(事務局)

前回は約100人で、前々回は約300人ほどでしたね。

(森田委員)

前回は、作文コンクールやポスター展の表彰式がありましたね。

(事務局)

そうですね。

では、これまでの内容について、再度、確認いたします。

- ・2月1日（火）9時から電話にて申し込み開始。詳細はホームページをご覧ください。
- ・事前に、マスク着用と検温をお願いします。
- ・ワークショップの欄にどのような作業をするかについて説明文を入れる
でよろしいでしょうか。

(武田委員)

あと、化石の展示についても説明文が必要ではないでしょうか。

(事務局)

本文の中に説明を入れることでしょうか。

(半田委員)

これらは、アンモナイトと三葉虫の化石です。また、鉱石は水晶も予定しています。

(事務局)

でしたら、「三葉虫、アンモナイト、水晶など」といった説明文を入れますが、よろしいでしょうか。

(半田委員)

大丈夫です。

(会長)

はい、ありがとうございます。

また、1月の会議でも決めていただく時間がありますよね。

(事務局)

そうですね。次回の推進会議は1月中旬を予定しております。今回は、役割分担など詳細な内容は決めず、おおよその流れと内容だけでも皆様と共有したいと思い、お話をさせていただきました。

(会長)

今回、決めていただく内容は、チラシと募集事項ですね。

(事務局)

そうですね。小学校に配布いたしますし、学校毎に仕分けする時間も必要になりますので、本日決めていただくと考えておりました。

本当は、全員の方に来ていただければ一番良いのですが、このようなご時世ですので、今回は申し込み制とさせていただきます。チラシだけでなく、ホームページや広報紙にも掲載いたしますので、多くの市民の皆様にご覧いただけるかと思えます。

(会長)

ありがとうございます。

皆様、他に何か意見等ございますでしょうか。なければ、事務局は次の議題をお願いいたします。

(事務局)

続いては、「第12期の環境づくり推進会議の活動テーマ」についてです。今期の推進会議で、今後どのような活動に取り組んでみたいか、あるいは、気になっている活動など、事前に委員の皆様には聞き取りをさせていただきましたので、少しご紹介いただければと思います。【資料⑤ 活動テーマ】と併せて別添の資料もご覧ください。まずは、後藤田委員からお願いいたします。

(後藤田委員)

よろしく願いいたします。

私は、3つ紹介させていただきます。

1つ目は、「六甲山登山の遭難事故防止の注意喚起活動」です。私は、芦屋市に来てから、よ

く身近な六甲山を楽しみながら登っています。気軽な山と思っていましたが、比較的、遭難が多いと聞き、私は、携帯で登山コースを登録し、位置が分かるようにしました。しかし、そういった機能も有料になる上、登山ルートが多く、道が分からなくなり、遭難するというケースが多いと聞きました。携帯のGPS機能をオンにしておく、消防団等の方も捜索しやすいと聞いたことがあるので、そのような注意喚起を芦屋川や登山道の途中等にポスターで掲示できれば良いと思いました。

2つ目は、「亀岡市のレジ袋廃止の取組の勉強会」です。亀岡市へ買い物にいった際、レジ袋の販売が条例で禁止にされていることに驚きました。調べたところ、日本では初めての試みということで、非常に面白いと感じました。紙袋については50円や60円での販売となっており、高く設定されているため、自分自身でエコバッグを持参して買い物する割合が高いそうです。詳しくお話を聞きたいと思い、勉強や視察できる機会があれば嬉しいと思い、紹介させていただきました。

3つ目は、「植物観察家の鈴木純さんによる「まちの植物観察会」」です。私は直接お会いしたことはありませんが、とても評判の良い方だとお聞きしました。近所や身近な自然に興味を持っていただくことを趣旨とされている方です。東京の方ですので、来ていただくことになると思いますが、植物観察家の方と一緒に勉強したいと思い、紹介させていただきました。

(武田委員)

私は、今回初めてということで、ホームページで過去の活動を拝見し、参考にさせていただきました。

1つ目は、「美しい芦屋の「自然発見・体験・観察会の実施」」です。また、併せてゴミ拾いを子供達と一緒にできればと思います。下の例にありますように、総合公園で春を探そう、潮芦屋ビーチで生き物を探そう、芦屋川で生き物を探そう、芦屋ハイキングで子供達に写真や動画を撮ってもらうといった活動です。

その後、2つ目の「啓発イベントの実施：動画・写真・WEB上のサイトで発信する」に繋がればと思います。活動記録や写真、動画等だけでなく、子ども環境作文をWEB上で閲覧できれば良いと思います。最近の小学生は、iPadを持っていますので、いつでも見ることができると思います。

(浜橋委員)

私は、自然を四季と五感という切り口で「芦屋の四季の自然を五感で体感しよう」をご提案させていただきます。

多くの方に自然の豊かさを五感で体験してもらえるように、観察会ができれば良いと思いました。切り口を見る、捕まえる、食べる、飾るといった実体験のイベントを企画できればと思いました。例えば、「見る」でしたら、春は七草、夏はホタル、冬は渡り鳥等を観察できると思います。また、息子は、芦屋川で捕まえたモクズガニを茹でて食べていたので、「食べる」といったこともできればと思いました。「飾る」では、動植物のアクリル樹脂標本が楽しいのではと思いました。おそらく、アシレンジャーさんが、以前されていたか。

(大脇委員)

おそらく、私の団体ですね。

(浜橋委員)

比較的、簡単に作れますし、植物等を標本にできれば、きれいに飾ることができ、楽しめるのではと思います、紹介させていただきました。

(松下委員)

私は、「芦屋川のごみ拾い散歩」ができればと思いました。海に行くと、「なぜゴミが流れて来るのだろう、誰が捨てているのだろう」と疑問に感じますので、散歩しながらゴミ拾いができればと思いました。また、散歩をしていますと、地面のひび割れ等の危険な箇所がいつの間にか修繕され、きれいになっています。影で支えてくださる方が大勢いらっしゃることを常に感じますので、そのような有識者からお手入れ方法を教えていただくと、より自然を意識できるのではと思いました。

次に、「ボードゲーム (ウィングスパン)」についてです。触って遊ぶゲームですので消毒が必要になると思います。このゲームは、170種類の鳥の生態を学ぶことができます。プレイヤーは野鳥観察者になり、保護区に鳥を呼び寄せるゲームとなっています。サイコロや木の実、動物といったアイテムを駆使して食料を取る他、鳥の卵を配置する等、鳥について学ぶことができます。老若男女問わず遊ぶことができますし、グループで遊ぶこともできますので、機会があればやってみたいと思い、紹介させていただきました。

(半田委員)

環境フェスタは、このままの内容でやっていけばと思います。参加された子供達は、おそらく良い体験になると思います。もし、可能でしたら、これまでイベントにご協力いただいた活動団体の例会に、我々が参加させていただき、あるいはそれぞれの立場で参加させていただくのはどうかと思いました。実際に参加すると、新しい発見があるのではと思いました。

(大脇委員)

私は2つ用意しております。1つ目は、芦屋川をドローンで上流から下流まで川の流れを調査できればと思っています。2つ目は、市内にある公園の植物を観察し、その植物で遊べることを発信し、大人や子どもが身近に遊べるということを紹介できればと思いました。

(冬頭委員)

ユープこうべの取組みの紹介になりますが、食品に関しては、食品ロスやゴミ袋持参の運用といった取り組みを進めてまいりました。食品ロスに対する学習会やマイクロプラスチックに関する学習プログラム等がございますので、何かお役に立てればと思います。また、展示パネルも各種ございますので、展示の際にお手伝いできればと思います。

(長井委員)

長い間、推進会議に参加させていただいた中で感じたことですが、この推進会議は芦屋のよりよい環境づくりを推進していくことがメインです。各団体からの代表である皆様の知識やアイデアを集め、芦屋のより良いまちづくりに導いていきたいと思います。各団体さんは、素晴らしい活動をされていますので、そのネットワークを利用して紹介する、あるいは、環境フェスタのように市民の方や別の団体に紹介できれば望ましいと思います。先ほど、素晴らしい意見がたくさん出ましたし、それらを実現できればと思っています。

(事務局)

皆様、ありがとうございます。池内委員の意見も紹介させていただきます。

～【資料⑤ 第12期推進会議活動テーマ案】の読み上げ～

井岡委員は何かございますか。

(井岡委員)

現在、小学3年生からは環境体験授業に取り組んでいます。自然や環境というと、山や川、海等に着目しますが、やはり、私達が住む場所が環境で、その中に自然があり、身近なもの目を向けることが大切だと思います。私達の身近にある公園は自然も豊かですし、木や葉っぱ、木の実や鳥等、小さな公園にも様々な発見があると思います。そのような場所から始めて、いずれは六甲山にも目を向けるように、徐々に場所が広がっていくと面白いのではと思います。

(森田委員)

私が初めてこの会議に参加させていただいた際、環境づくり推進会議とは何かと調べたところ、芦屋市環境計画の中に環境づくり推進会議が位置づけられています。環境計画は、5つの基本目標から成り立っています。1つ目は自然環境の保全といった「自然環境を守る」、2つ目は公害防止を目的とした「健康で快適な生活環境を創る」、3つ目は「美しいまちなみを育む」、4つ目は「地球温暖化を防ぐ」、5つ目はゴミを減らすといった「循環型社会を創る」という内容です。環境といっても意味合いが広いですが、我々環境づくり推進会議はその計画の取組を推進していく役割があります。大変ですが、少しずつできることから取組む必要があると思いました。今回、私が心強いと思ったことは、皆様が自然環境の保全だけでなく、環境問題全般に渡って様々なご提案をしていただけたことです。2年の期間を考えますと、何に取り組むか、ある程度決めて取組む必要があると思いますし、今回の皆様のご提案の共通項に外に出て活動をする、という意見が多かったので、そういった活動も良いのではと思いました。

(事務局)

皆様、ありがとうございます。貴重なご意見ありがとうございます。

私も拝見し、どれもやってみたいと感じました。2年間ありますので、可能な限り多くのことができればと思いました。

前回の第11期ではイベントができなかったため、「芦屋でみることのできるおすすめ自然」といったホームページを作りましたが、今後は外に出て活動し、身近な芦屋の自然をより充実してご紹介できればと思いました。また、ゴミ袋ゼロについて、亀岡市へ勉強しに行くのも良いですし、マイクロプラスチックについて、海へ出てゴミ拾いするのも良いのではと思いました。まずは、2月にあります環境フェスタをおこない、その後、いただいたご意見やテーマを参考に、今後の第12期の活動スケジュールを決めていきたいと思っています。

皆様、どうぞよろしく願いいたします。

(会長)

皆様、ありがとうございました。

最後に、全体を通して何かご意見のある方や連絡事項はございますか。ないようでしたら、以上で第1回環境づくり推進会議を終わります。ありがとうございました。